

# ルーラル・オレンジ・フェスタ

in 周防大島

日時 11月3日(日)

午前9時～午後3時

■三蒲会場 東三蒲 (JA 山口県三蒲ふれあい店)

■東和会場 西方 (道の駅サザンセットとうわ)

○協力開催 戸田青空市 (ガソリンスタンド斜め前)

日時 11月2日(土) 午前6時～午前9時30分

皆さまのお越しをお待ちしております

◆問い合わせ

周防大島町ルーラル・オレンジ・フェスタ

推進協議会事務局 (農林課内)

☎0820(79)1002

受章



◆瑞宝双光章  
中川 章さん (久賀)  
(元公立学校校長)

33

## 周防大島の文化財

### 木造 阿弥陀如来座像 1 躯 (森)

本像は法心寺本堂の須弥壇の裏、位牌堂に客仏として安置されている。

法心寺は明治の初年に、森村の法明庵に和佐村の心月院を合併して法心寺と寺号を改めたのであるが、『風土注進案』に「当村(森村)ニ往古法寿寺、法明庵と禅宗二か寺御座候、法寿寺終ニ及断絶、彼寺本尊阿弥陀如来之像をも法明庵え引移し伝々」とある。その阿弥陀如来像に当たるものと考えられる。法寿寺は元文(1736～40年)頃の『寺社由来』には記載がないので、断絶はそれ以前と見られる。

像高は82.1 cm。像容は衲衣を偏袒右肩にまとい、上品下生の印を結び、右足を外にして蓮台上に結跏趺坐する。

頭、軀部の主幹部を含めてヒノキの堅一材から彫出し、背面は襟下から地付部まで大きく割矧ぎとし、内割りを施している。両腕とも肩下から上膊にかけての外側に補材をはぎ、さらに右手は臂と手首で、左手は臂ではぎよせている。膝前は裳先を含めて横一材から彫出して腹下で軀部によせる。全体に虫害がひどく、状態は良好とはいいがたい。

全体的に藤原時代末期の彫法がみられるが、ひき



しまった面部には鎌倉風がうかがわれる。その製作は藤原時代末期から鎌倉時代の初期にかけてのころと考えられる。地方作ながら優作で、文化財として貴重な資料である。

《周防大島町文化財保護審議委員 菊本 雅喜》